

## 支部のトピックス（近畿支部）

## 近畿支部 第55回研究発表会を開催

2022年10月14日（金）、大阪科学技術センターにて建コン協近畿支部会員の技術力向上、技術交流、技術者の能力向上を目的として第55回研究発表会を開催しました。

過去2年はコロナ禍のため集会での開催ができませんでしたが、徹底した感染対策を施し、ほぼコロナ禍以前の形式で開催した他、コロナ禍を契機に始めた動画配信も引き続き行い、遠方の方にも視聴いただきました。一般発表とポスター発表の抽象クトは、近畿支部ホームページにて公開しています。（論文は近畿支部ホームページ（会員専用ページ）で公開）。

今年度は支部会員の一般発表57編、入社3年以内の社員によるポスター発表30編の研究発表を行った他、環境安全委員会、ICT研究委員会、道路研究委員会、インフラメンテナンス研究委員会Ⅱ、河川研究委員会の活動報告、社会資産共有委員会の映像展示、BCP委員会による香川大学 白木先生講演とワークショップ、働き方研究委員会のアンケート調査と研究内容展示、魅力発信委員会の川柳コンテスト掲示、映像展示など、活発な活動報告等が行われました。

特別講演は、国土交通省 近畿地方整備局 技術調整管理官 堤英彰氏による「建設コンサルタントをとりまく現状」、立命館大学教授 野村泰稔氏による「AI/機械学習の研究動向と建設維持管理分野への応用展開」の2講演を行い、多くの聴講者の参加を得て好評でした。

また、2022年11月に「建設技術展2022 近畿」内で開催された土木学会関西支部イベントにおいて、本研究発表会ポスター発表の優秀発表者が発表する場をいただきました。学生や一般来場者に対し建設コンサルタントの役割と魅力をアピールし、理解を深めてもらうことができました。

2023年度からは土木学会関西支部、近畿地方整備局、建コン協近畿支部の三者で「関西土木交流発表会」を共同開催する予定です。研究発表会の一部（ポスター発表）を実施予定としています。三者共催で開催することにより、インフラ整備の重要性と建設業界の役割等を社会人や学生等に幅広く知ってもらう機会とします。

